令和8年度 第1回宗像市幼児教育審議会議事録

期 日： 令和8年8月21日（金）
時 間： 16時00分から17時00分まで
会 場： 宗像市役所本館301会議室

◆出席者

【審議会委員】

石上 洋明	○	藤原 あや	○	木部 里美	○
松延 孝代	○	鐘井 秀子	○	中尾 麻貴子	○
奥村 美香	○	高橋 茂	○	上村 聡子	○
森田 康裕	○	大和 寿美	○		

【事務局】

（子ども子育て部）早川部長
（子ども育成課）許斐課長、吉田係長、花田係長、柴田
（子ども支援）山本係長
（子ども家庭センター）大森係長、有吉
（地域教育連携室）荒木参事

1 あいさつ

子ども子育て部長より開会のあいさつ

2 委員、事務局の紹介

審議会委員自己紹介
事務局職員紹介

3 審議会の役割について

事務局から、審議会の役割について資料1に沿って説明。

4 会長及び副会長選出

会長に石上委員、副会長に奥村委員を選出。

5 開会

事務局から出席委員数が過半数に達している旨報告、会長が開会を宣言。

6 審議事項

（1）宗像市幼児教育審議会運営方針及び傍聴要領について

【事務局】 事務局から宗像市幼児教育審議会運営方針（資料2）及び宗像市幼児教育審議会傍聴要領（資料3）について説明。
本審議会の議事録作成方法は運営方針（資料2）においてアイウの3種類から選択すると定めている。事務局案としてウ：会議全体を通しての要点筆記を提案したい。

（意見・質問なし）

【委 員】異議なし。

（本日傍聴人なし）

7 報告

（1）令和7年度幼児教育実施状況について

（2）令和8年度幼児教育事業計画について

【事務局】 令和7年度の幼児教育事業報告と令和8年度の幼児教育事業計画について報告。

・今年 6 月 11 日の保幼小認義連絡会では、市保育協会よりカフェコーナーの提供があり、和やかな雰囲気の中で交流を深めることができた。

・第 1 回幼児教育と小学校教育の円滑な接続に関する研修会は研修会でのアンケート、幼児教育審議会や研究協議会での意見を踏まえ、これまでの幼稚園での開催から初めて小学校を会場として宗像市立自由ヶ丘小学校で開催。1 年生の授業を参観し、意見交換を行った。

・保育の日については、R6年度に初めて取り組んだ4月の保育の日が小学校の先生に好評であり、令和8年度も4月、8月それぞれ3日間に絞って実施した。

（3）幼児教育振興プログラムの「こども計画」への統合について

【事務局】 市の目指す幼児像や幼児保育の方向性を示す幼児教育振興プログラムについて、第4期の計画期間の終了に合わせて宗像市こども計画へ統合する。

【委　員】 令和 7 年度の幼児教育事業の実施状況について、結果と評価はあるのか。

【事務局】 参加者にアンケートをとって次年度につなげている。

【会　長】 自由記述はあるか。

【事務局】 自由記述もあるが、報告書には、数値化してグラフを記載している。

【委　員】 幼児教育振興プログラムをこども計画へ統合し、9 年度からはこども計画に基づく事業として継続していくということでよいか。

【事務局】 1 期 5 年で、今年度が第4期のプログラムの最終の年になっている。例年、最終の年に見直し等を行うが、令和 8 年度をもってプログラムの更新を終了し、引き続きこども計画に位置付けられた事業として、継続して取り組んでいく。

【委　員】 第 4 期宗像市幼児教育振興プログラムや宗像市こども計画のリーフレットはどこで手に入れることができるのか。

【事務局】 ホームページに掲載をしている他、関係機関やこども施設等に冊子を配っている。

【委　員】 「楽しい小学校生活に向けて」は、保護者がとても難しいと感じるのではないかと以前、意見があった。発行から 4 年が経っているので、保護者が安心して小学校に上げられるようなニュアンスのものに変更してはと言われていた。

【事務局】 幼児教育振興プログラムに合わせて見直しをすることになっているため、今年度、見直しをする予定。宗像市研究協議会で、検討していきたい。

【会　長】 委員（保護者から2名）はこのリーフレットをご覧なって、わかりやすいか。

【委　員】 「できたらいいよね」ということは確かにわかるが、やらなきゃいけないのではないか、できてないことばかり見える気はする。一番下に相談窓口が書いてあるが表示が小さいので相談先はどうしたらいいかと思う。

【会　長】 近々、幼稚園教育要領の改訂や、学習指導要領の改訂も近いので、機会としてはちょうど良い時期。改訂されると保護者としても、非常にありがたいのではないか。

【委　員】 保護者に渡す時期は、いつか。

【事務局】 5月と入学の統一説明会の時に 2 回配っている。
いろんな意見を踏まえて今の形となっているが、現在の保護者の意見や、子どもの状況を踏まえた上で、どういった形が一番良いのか研究協議会で議論する。

【委　員】 研修会のテーマはどのような形で進められているのか。

【事務局】 毎年事前事後のアンケートを行い、翌年度、研修のテーマを決めている。参加者の声を聞きながら、翌年度に生かすようにしている。

【委　員】 基本施策の 3 の「家庭の教育力の向上」で、令和 8 年度の幼児教育事業計画では具体的にどういうふうにしているのか。

【事務局】 プログラムに基づいて事業を行っている。家庭の教育力向上に関する研修は、保護者が直接参加されるものではなく、保育所、幼稚園、認定こども園、PTA、子育て支援団体向けに、研修を行っている。園や学校関係機関等が、研修で学んだことを家庭向けに展開している。

【委　員】 全家庭向けではないのか。

【事務局】 園では地域の開放事業等を行っている。遊びの中で学んでもらうような機会を設けたり、家庭が孤立しないように地域で子育て支援できる環境を整えていく内容になっている。

【会　長】 発信された情報を、保護者が間接的に受け取る形になっている。成果が見えづらく、わかりにくいところがあるのでは。

【委　員】 （リーフレットについて）できるだけわかりやすく、全体を取りまとめている。学校がこれによって子どもを評価することはないので、心配せずにひとつの目安となればいいのでは。

【委　員】 あまり知らなかった取り組みとかいろいろあって、勉強になった。保護者に配布しているパンフレットなど。療育の頻度とか関わり方も丁寧に見ていかなければいけないなと思っている。なるべく相談に入ってもらえるように取り組んでいる。

【委　員】 いろんな機関が子どもたちを真ん中にして、何か悩んだときは、そこへ行けばということになったらちょっと楽になっていくのではないか。

【委　員】 宗像市こども計画の中に、幼児教育振興プログラムが統合されることで、危惧しているのは、保育者に対する資質の向上、研修がこども計画の中に入っていくのが見えづらい。その辺どのように考えているか。

【事務局】 今日配布しているこども計画は概要版だが詳細版には事業の内容がわかるようにより詳しい記載がある。こども計画においては、幼児教育振興プログラムの文章をそのまま引用していないが、これまで積み上げてきた事業はそのまま引き継いでいく予定としている。会議等も継続して残していくので、そういった方針、理念というものは、できる限り残していきたいと考えている。

【会　長】 概要版などで気づかない部分あるかと思うが、ニーズも含めて、今後の改訂の中で、盛り込むところ、削るところを調整していかれるといいのかもしれない。

（質問・意見なし）

【事務局】 次回の開催日は２月を予定している。12 月頃に調整する。